

姥ヶ山「地域の宝」とは



自治會長

阿部博一

令和七年四月二十日(日)ご来賓の方々のご出席を頂き「姥ヶ山自治会総会」が行われました。おかげさまで六年度は、様々な活動を行つてきましたが皆さま方のご理解とご協力を頂き無事終了することができました。七年度も前年度同様にご協力の程よろしくお願ひいたします。

船着き場であつたこと。そしてそこに航海の無事を祈るために一体の石仏が祀られ、その靈験あらたかな石仏は姥ヶ山の命名伝説として語り継がれてゐること。

姥ヶ山の砂丘列に人が住み開墾を始めた江戸時代初期の頃、石仏を信心していた、高橋彦四郎さんの夢枕に白髪のお爺さんに姿を変えた石仏が現れ、六体地蔵の建立の願いを受け、寄進を募った後、佐渡の宿根木の石工に依頼した時の驚きのやりとりのこと。

そして、一七一四年（正徳四年）大渕
本興寺第五世石天全補和尚による開眼

『姥ヶ山 地域の宝』とは

昨年八月末に桜が丘小学校三年生の

地蔵堂の歴史並びに姥ヶ山自治会の行事（さいの神等）を紹介しました。後日、姥ヶ山地域の歴史、そこに住む人々の子供達の札状と学校から「子供たちは思いが理解でき、地域のことに関心をもち、地域のことがさらに好きになつたようです」とのお手紙を頂きました。

そして、今年も昨年と同じ三年生に
七月初旬の総合学習の授業で「地域の
宝」の演題で石仏山地蔵堂の歴史を語
ります。

まずは、現在の石仏山地蔵堂の場所は、まだ人が住む前には今津の森といわれ、うつそうとした木々に覆われた

第 93 号

発行者
姥ヶ山自治会
阿部博一

令和七年六月三十日現在

A photograph of a traditional Japanese wooden building with a tiled roof. In the foreground, a stone torii gate stands on a low platform. The building features wooden walls and a lattice screen (engawa) on the upper level.

A paved driveway leads towards a house. The driveway is flanked by trees and a white fence. The house has a visible entrance and some foliage around it.

令和7年度 姥ヶ山自治会組織表

